# インディアナ日本語学校便り 第20号

令和５年 10月14日事務所 317－255－1631 メール ijls@indiana-j-school,net

(HP) http://www.indiana-j-school.net　　校長　森 勝義


# 「運動会特集２」

## ～楽しい思い出～

校長　森　勝義

１０月７日個人懇談会１日目も無事に終了しました。本日は２日目です。より積極的な情報交換ができますように願っています。

さて、運動会の児童生徒感想文が集まりましたので、掲載いたします。

６年２組

「勝ちよりも価値のあること」　熊澤佐保

「がんばれー」私は全力でさけんだ。背の高いリレー選手たちが風のように走っていく。白組の選手に合わせて、私も走った。

運動会が始まるまで、私はあまり運動会が楽しみではなかった。理由はあまり運動が好きではなかったからだ。でも運動会当日、いつもと違う学校の雰囲気に気づいたころには、ワクワクしていた。選手宣誓が始まり、さあ始まるぞと、運動会の幕が開いた。去年の運動会をやってから１年がたち、運動会の目的を忘れてしまっていた。でも６年２組のみんなで、他の学年が競技をしているところを応援していると、一丸となっていることに気がついた。また、運動会では、授業中とは違うみんなの姿や一面を知ることができて、このクラスを前よりずっと好きになった。私は、運動会は、ただ競技をして運動するだけではなく、クラスの人や、学校全体と一丸となって何かをやるとは、こんなに楽しいことだったのかと気づかされた。

お昼の休けいに入り、空き時間に友達と人だかりのところへ行ってみると、うちのクラスや１組の人たちが、走り幅跳びをしていた。楽しそうだったので、私も仲間に入れてもらった。いつもは休み時間を共にしない人たちとも一緒に遊んで不思議だったけれど、いつもあまり話さない人たちとも話せて、うれしかった。他の学年の競技がいくつか行われた後、とうとう最後の種目、中高学年のリレーの時間になった。得点版の白組と赤組には大きな差はなく、赤組の方が少しリードしていた。私たちはリレーが始まる前からきんちょうしていた面持ちで、立ちながらまだかまだかと、リレーが始まるのを待っていた。そしてやっとリレーが始まった。「がんばれー」私は全力でさけんだ。背の高いリレー選手たちが風のように走っていく。白組の選手に合わせて、私も走った。白組の選手たちがどんどん差を広げていく。みんなで顔をキラキラさせながら走って大声で応援した。「やったあああ」勝ったことが信じられなかった。

私は運動会で、みんなが一丸となって何かをすることの楽しさを知った。

「バチバチワクワク運動会」　阿部圭寿

今日は久しぶりの運動会。どれもこれも楽しそうだったので、テンションが、ばく上がりでした。「よーし！年に一度の運動会だ。気合い入れていくぞ！」と意気込みました。あまりにも楽しみだったので、大声でさけんで、妹のこまくがやぶれそうになりました。

とうとう運動会が始まったとき、たくさんの保護者や子どもがたくさんいて、「ワァーオ」と気持ちが高まりました。開会式が始まりました。みんな静かになり、校長先生の話をよく聞きました。ぼくは心臓がバクバクし始めました。なぜならぼくは、校長先生の前で。選手宣誓をするか

らです。ついに「選手宣誓の人は、前に出てください」と言われたとき、スゥーと、息を吸い込みました。そして、見事にミス一つなく、スラーっと大声で、宣誓ができました。
　最初は、小学生の徒競走でした。徒競走は自信はなかったけれど、一生懸命走り続けました。
　その後、競技が続き、ついにぼくが一番好きな綱引きの番が来ました。ぼくはまた、「気合いをいれよう！」とさけびました。みんな頑張って綱引きをしたので、勝てました。
　お昼になりました。みんなでお昼を食べました。お弁当はすごくおいしかったです。その後、うでを痛めました。それでもあきらめずに、競技をして、三位をとれました。
　最後の中高生のリレーは、はく力がありました。みんな一生懸命走って、大変おもしろかったです。とうとう結果発表です。どっちが勝つのか、みんなでひそひそしゃべっていました。見事に勝ったのは、・・・白組でした！みんな「イエーイ」とさけび、楽しい運動会が終わりました。

## 運動会高等部　生徒作品集　高校１年生

岩谷醍樹　アンカーで　二位から一位　逆転だ
片岡俊晴　白組なのに　赤組で参加した　綱引きで　勝ちたいような負けたいような
　　なんともいえない　気持ちだな。
金井勇人　最高の　汗を流した　運動会
久保田陸公　『棒はもらった』　関ヶ原のごとく二つの陣が互いに睨みあう。私は興奮を抑え列に立つ　私は小学一年から今年まで、根っからの白組であるが　この種目だけは数の都合で赤組に組みする事となった。しかし、戦いにおいては、自分がどこの者かということは、さほど重要ではない。
　　眼前の敵に打ち勝つ、雑兵である私は、それだけでいい。
小林輝月　トリ種目　人生初のアンカーだった
竹内啓太　白組で　協力し合って　勝ち取った　優勝杯
濱野遼空　近差で勝利　白組
鎮田優杜　僕は、今回すべて、初で何をすればいいのかわからなかったです。なので今回は運動会と役割係どちらも初だったので、先生方や先輩　そして同級生の方々に教えてもらいました。なので役割の係でしっかり役割をはたせれたと思いました。僕は今回の運動会はとっても楽しかったです。なので来年もしっかり役割をはたしたり、運動会を楽しみたいと思いました。
鈴木香穂　運動会　みんな張り切る勝利へと　他人から　奪うあの棒　最高だ
野田唯花　暑い日に　走る人々　輝きが　めげそうな時　後ろには　人のエール　白組の勝利の秘訣　団結だ
本多未和　着順が楽しかった　白組勝利　楽しい日　暑苦しいが　がんばった　私達　白組勝利　楽しい日

高校２年生
大狭間暖　放送部　実況して　ほめられた
河野龍畝　弟がいないと　やはり　ベビー室
田上陽翔　青い空　一生懸命　徒競走 あつい(熱い・暑い)エールと　滴る雫(汗)
麻場理未　投げた玉　秋の空まで　天高く
梅村彩音　秋風と　共に走る　運動会
渡辺結依　晴天で　全力疾走　運動会

高校３年生
川合瑞希　運動会　全力出して　筋肉痛　次の日朝は　生まれた子鹿
グリグーティス晶子　筋肉痛の分だけ蘇る　前日の楽しかった記憶
濱野萌華　高校青春　ラストを飾る　情熱の紅　友情刻みし　燃えつきた秋

６年１組　　「運動会でいちばん心に残ったこと」　　鳥居　紗名

私が運動会で一番心に残ったことは、選手宣誓です。選手宣誓は初めてだったので、とても楽しみでした。家で練習する時は、大きな声ではっきりと遠くの方まで聞こえるように心がけました。特に練習する時に意識したのは、姿勢です。私は姿勢が悪いとお母さんによく言われるので、背筋をしっかり伸ばすように意識しました。また、指先までもピンと伸ばすようにしました。私はワクワクしながら運動会当日をむかえました。当日、もう一人の人がきんちょうしているように見えたので、心配でした。また、大勢の人たちがいる中で、マイクがしっかりと後ろの方まで届くか不安でした。だけど、私ももう一人もしっかりと自分のパートを言うことができたので、ほっとしました。そして最終的に赤組対白組で負けてしまいましたが、いい思い出になりました。

「運動会でいちばん心に残ったこと」　　花野　瑛都

ぼくがいちばん心に残ったことは、リレーの選手になってアンカーとして走ったことです。ぼくたちのチームで力を合わせて、1位をとることができました。ぼくのチームは、みんな足が速かったです。ぼくがなぜリレーのことが心に残ったかというと、3年連続でリレー選手に選ばれているからです。今年もリレー選手に選ばれて、とてもうれしかったです。ぼくは、来年、安全でみんなが助け合って、力を合わせるという運動会にしたいです。来年はこのアメリカにいないけど、来年のみんなにそうしてほしいです。

「運動会でいちばん心に残ったこと」　　鈴木　湊斗

私の運動会でいちばん心に残ったのは、おしりでバンバンです。なわとびで風船のところまで行って、風船を割って、その後バスケットでドリブルしてゴールする競技です。いちばん心に残った理由はいっぱいあります。1つ目の理由は1回で風船が割れて、痛快だったからです。2つ目はなわとびを飛び終わった後になわとびをどこに置けばいいのかわからなくて、少しおくれたのが心に残りました。3つ目はバスケットのドリブルがうまくいきか気がかりでしたが、それでもうまくやれて気が楽になりました。私は赤組だったので、今年は赤組が負けましたが、来年はくじけずがんばって勝ちたいです。

「運動会でいちばん心に残ったこと」　　西山　大智

ぼくは、今回の運動会でいちばん心に残ったことは、最終的に逆転負けしたことです。なぜなら、序ばんの方は赤組が優勝だったのに、後半からだんだん点差が縮まって最終的にリレーで逆転されたからです。ぼくは赤組が絶対勝つと思って、うきうきしていたので、負けたと分かったしゅん間とても悔しい気持ちになりました。運動会の一日で、気持ちがジェットコースターのように登って急降下したのを経験したので、逆転負けが一番心に残ったのだと思います。来年は中学生として参加します。ぼくがいちばんおもしろいと思ったのは、スーパー玉入れです。なので、中学生になったらスーパー玉入れを楽しみたいです。

小学２年２組夏休みの絵日記

橘高良吹くん：ぼくは、りんごをかんさつしました。りんごのなかは、でこぼこです。そとから見たら、黄色いてんが見えます。かわとたねは、つるつるです。木とりんごをつなぐところのまわりは、白です。

山下柚奈さん：わたしは、りんごをかんさつしました。てんてんがいっぱいあります。色は、赤と黄色です。さわるとぽつぽつしています。においは、あまいです。

山下夏乃葉さん：わたしは、いちごをかんさつしました。いちごはまっかで、いろいろなところに黄色のたねがいっぱいありました。においは、あまくておいしいにおいがしました。なかみは、ぬるぬるしていて、すぐおちました。なかみの色はピンクと、白でした。いっぱいかんさつするのは、たのしかったです。

５年２組　「きいて、きいて、きいてみよう」

「伊藤誠さんの昔の仕事、公邸（こうてい）料理人」について発表します。　　伊東　咲姫

伊東誠さんとは、私の父です。父は以前、公邸料理人として仕事をしていました。始めた理由は、海外に出て料理をしたかったからです。

公邸では、日本からの来客や海外も含めて、国内からも多くのえらい人をもてなしていました。働いていた場所は、ドイツのベルリン、アメリカのアトランタ、ニューオリンズ、シカゴでした。一番思い出に残った来客は、ジミーカーターと中曽根元総理大臣だと言っていました。インタビューをして話を聞いていると、むずかしい仕事だと思いました。

## ヒゲ森の言葉の森・探検

しんぼう　えんりょ

# 深謀遠慮

先々を深く考えて計画を立てること。「深謀」は深く考えた謀（はかりごと）、「遠慮」は遠い先まで考慮すること。

**幸福の扉がひとつ閉じるときには**
**別のひとつが開きます。**

ヘレン・ケラー

１８８０年～１９６８年。アメリカの社会事業家

今の幸福が終わっても、いつか別の違った幸福が訪れるはず。一つの幸福に執着せず、心の扉を開いておこう。